



スマートシティ推進室本島室長の

スマートシティ かんたん解説！

Q. 都市OSって、何のことですか？

A. 「都市OS」とは、行政や福祉、防災、交通などのさまざまなサービスをつなげて、より使いやすくするための基盤です。

本市では「会津若松+（プラス）」がその役割を担っています。今後は、その機能をさらに強化して、例えば市役所や病院、金融機関などの複数の機関が提供するサービスをつなぐことで、オンラインで行政手続きをしたり、診療や服薬指導などを受けたりすることができ、その支払いはキャッシュレスで済むようなサービスの実現を目指しています。

Q. なぜ、今のままじゃダメなの？

A. 今のデジタルサービスでは、地域にお金や情報が残らないからです。

インターネットで買い物や旅行の予約などをしたことはありますか？ 検索や支払いも簡単にできて便利です。一方で、今のデジタルサービスでは、手数料も含め、お金が地域の外に出ていってしまいます。さらに、買い物の履歴などの情報も、サービスを提供した大手企業に集まり、私たち利用者と大手企業の二者だけが良くなる「二方良しの社会」となり、地元の企業やお店などにとって良い環境とはなっていませんでした。

Q. どんな風になるの？

A. 利用者が便利と感じるだけでなく、地域全体を元気にしていきます。

例えば、自宅にいながらオンラインで医師の診察を受けたり、住民票の異動手続きができるようになったりします。また、地域で使えるデジタル通貨での支払いができるようになるので、地域にお金や情報が残り、それを利用して新しい仕事生まれるなど、地域全体が元気になる仕組みを目指します。

ここでは、本市が「スマートシティ」を目指す理由や目指すまちの姿を紹介し、また、スマートシティに関する疑問にお答えします。ぜひ「スマートシティ会津若松」をもっと身近に感じてください。

私が
紹介します！



スマートシティ推進室
本島 靖 室長

Q. デジタル地域通貨って何ですか？

A. 特定の地域内で使える電子通貨のことです。

多くの場合、スマートフォンアプリでキャッシュレス決済（現金を使わない支払い）に使用します。従来のキャッシュレス決済は、店が負担する手数料が大きかったり、買い物の履歴などの情報が地域の外へ出ていってしまったりする課題がありました。スマートシティ会津若松では、地域内にお金や情報が残り、それを利用した新しい仕事生まれるなど、地域全体が元気になるようなデジタル地域通貨「会津コイン」の導入を進めています。

Q. デジタル田園都市国家構想って何ですか？

A. 「デジタル田園都市国家構想」とは、地方の魅力をそのままに、都市に負けない利便性と可能性をデジタル技術を活用して実現しようとする考えで、令和3年10月に発足した岸田内閣で打ち出されました。

現在、国による推進交付金などの支援により、過疎化や高齢化といった地方の課題解決に向けて、テレワーク施設の整備やドローンなどを使った自動配送、遠隔診療サービスの提供など、全国各地でデジタルを活用した取り組みが進められています。

Q. そもそも「スマートシティ」の「スマート」って何のこと？ なぜ、スマートシティを目指すの？

A. スマートとは「賢い」という意味です。本市が目指す「スマートシティ」とは「賢い方法でまちを運営していく考え方」を意味しています。

このまま人口が減り続けると、働き手や税収が減り、道路などのインフラ整備や、学校などの公共施設、ごみ処理や除雪などのサービスを維持することが難しくなります。本市は、デジタル技術を「賢く」使ってさまざまなサービスを維持していくために、スマートシティに取り組んでいます。また、デジタル技術を使った新しいサービスや魅力的な仕事生まれることで、若い人が地元で働いたり、本市に移住してくる人が増えたりすることが期待できます。



スマートシティで目指すまちの姿

～会津コインで目指す“まち”の姿～

会津若松市 スマートシティ推進室

スマートシティ会津若松の考え方や取組などをまとめた動画をご覧ください



動画で
ご紹介
7分



<https://youtu.be/kE7h4X5Z55s>

(2022.12.4)
スマートシティ会津若松の発展・深化に向けて

- スマート (smart) : 賢い、効率的な、最新の、高性能の
- シティ (city) : まち

デジタル技術を使って、**生活が便利**なまちをつくる



インターネット、
スマホ...



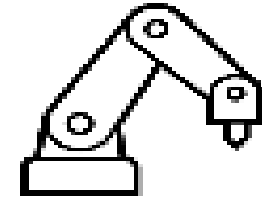
人工知能
(AI)



仮想現実
(VR)



音声認識
(AIスピーカー)



ロボット

など...

「スマートシティ会津若松」で目指す地域の姿

**“賢い”方法で
“まち”を維持**

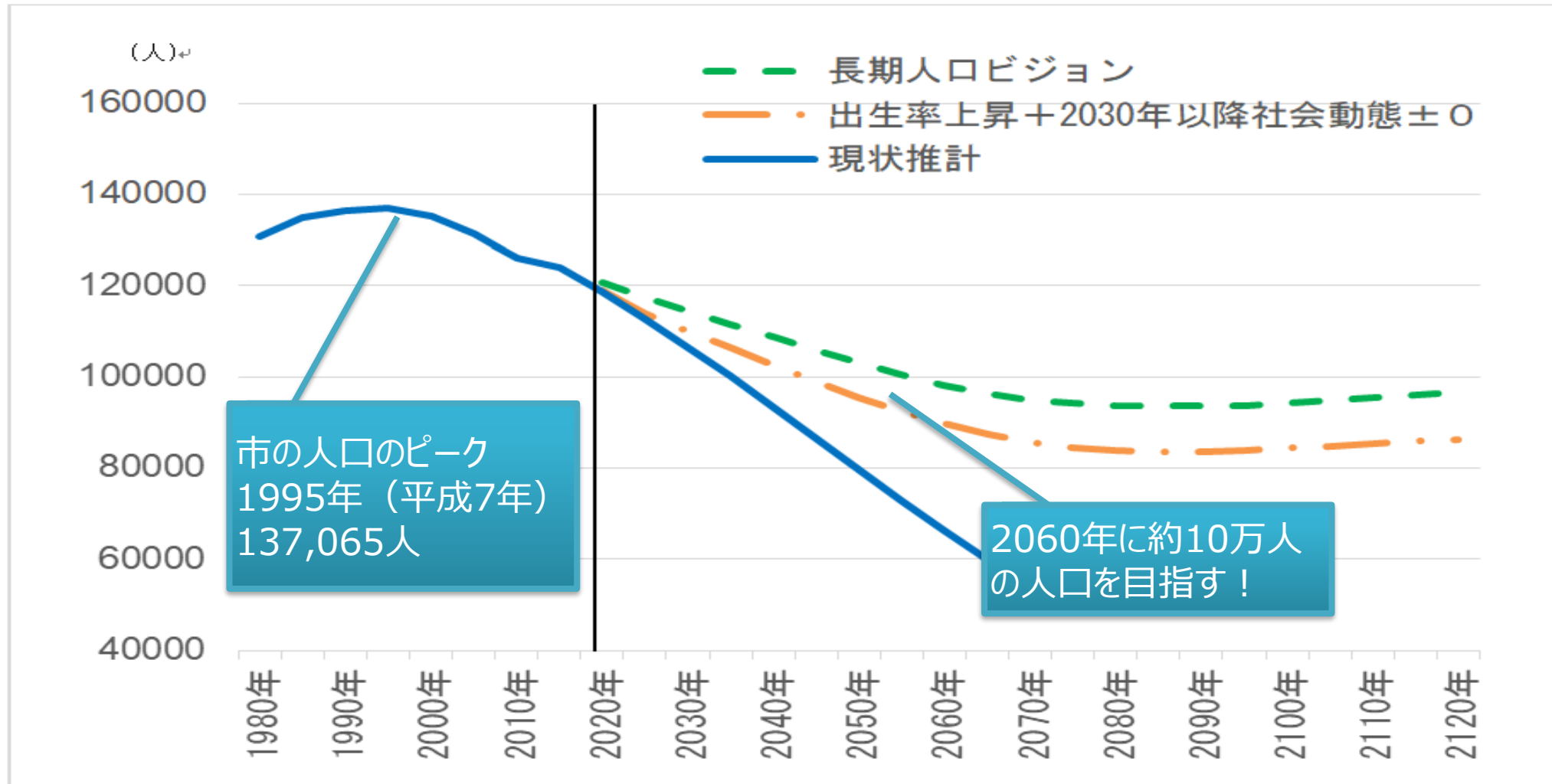
**新しい&魅力的
な仕事づくり**

**地域全体を元気に
する仕組みづくり**

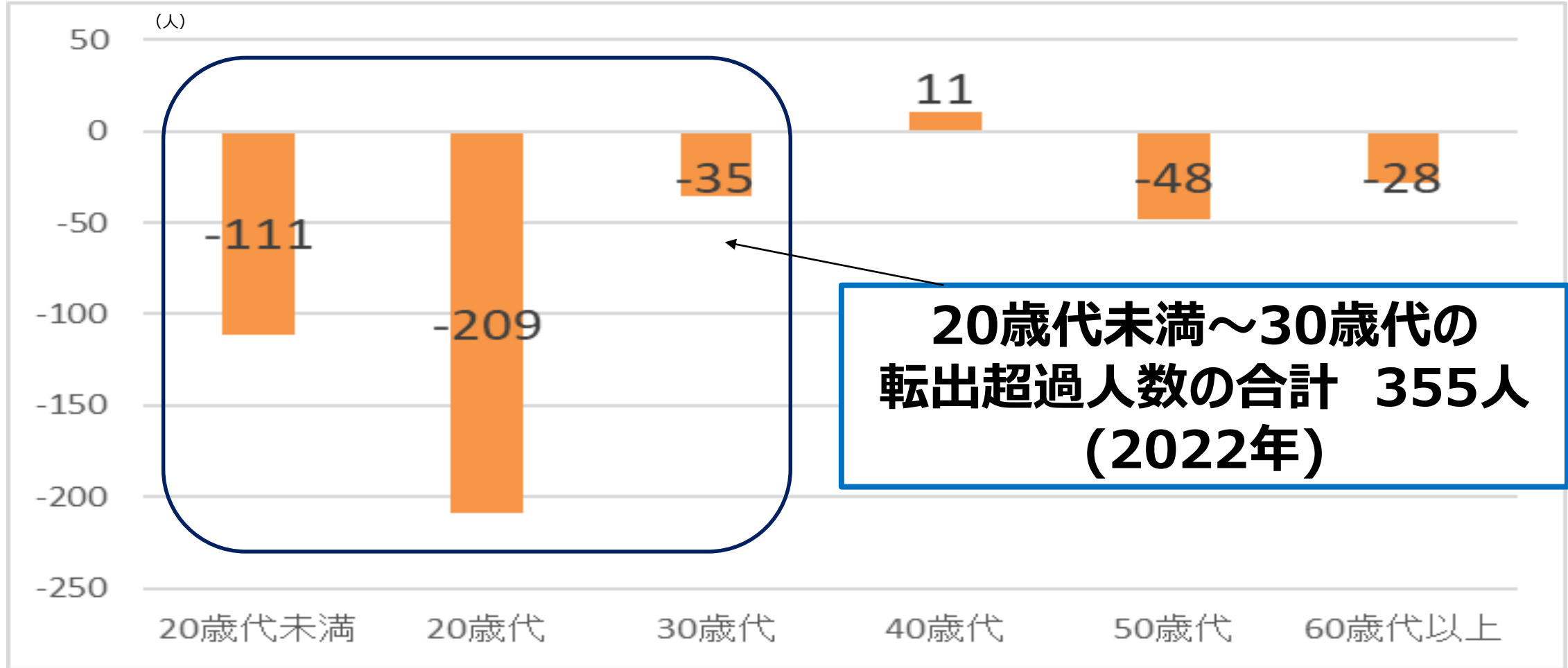
なぜスマートシティに取り組んでいるの？～人口減少

年間で約1,000人ずつ減少しており、今のペースで人口が減っていくと、2040年には人口10万人を切り、2060年には約6万6千人まで人口が減ることが予測されています。

■市の人口の見通し（第2期人口ビジョンより）



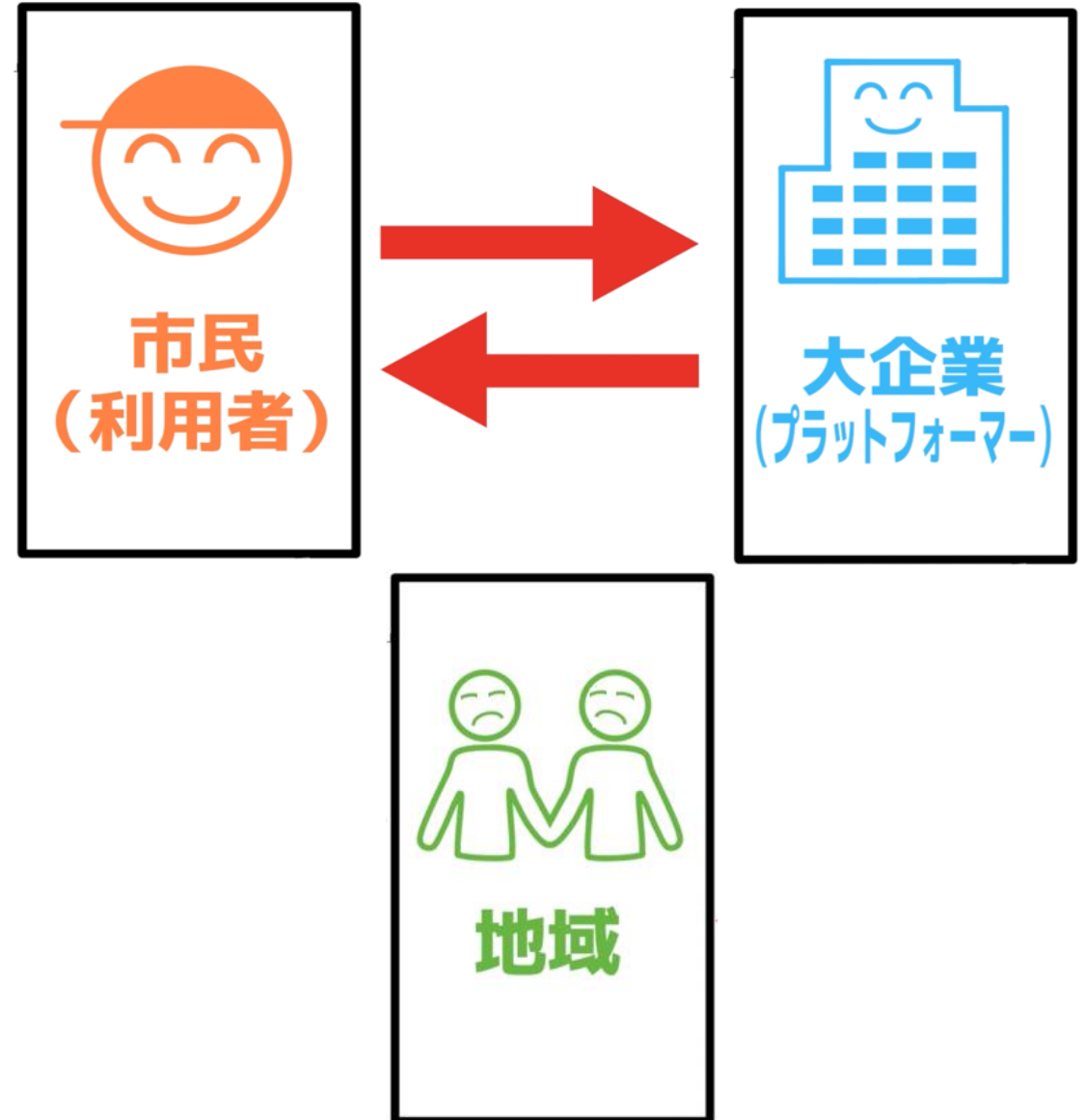
30歳代までの年代の転出超過が際立って多い



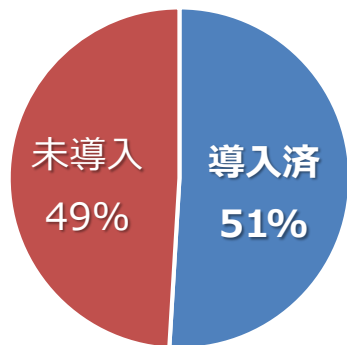
現状の課題～二方良し社会

- ・インターネットでの買い物や旅行の予約などは、検索も支払いも簡単に出来て非常に便利。
- ・一方で、今、提供されているデジタルサービスのほとんどでは、手数料も含めてお金が地域の外に出ていってしまっている。
- ・さらに、買い物や予約の履歴などの情報が、デジタルサービスを提供する大手企業に集まり、大手企業はその情報をもとに、サービスの改善や新しいサービスの提供を図っている。
- ・利用者と大手企業の2者だけが良くなり、地域の企業やお店にとっては、中々この輪の中に入ることが出来ない。

現在のデジタルサービス

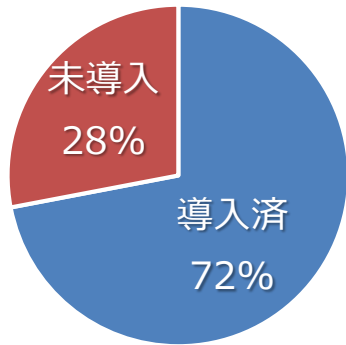


市のキャッシュレス導入状況

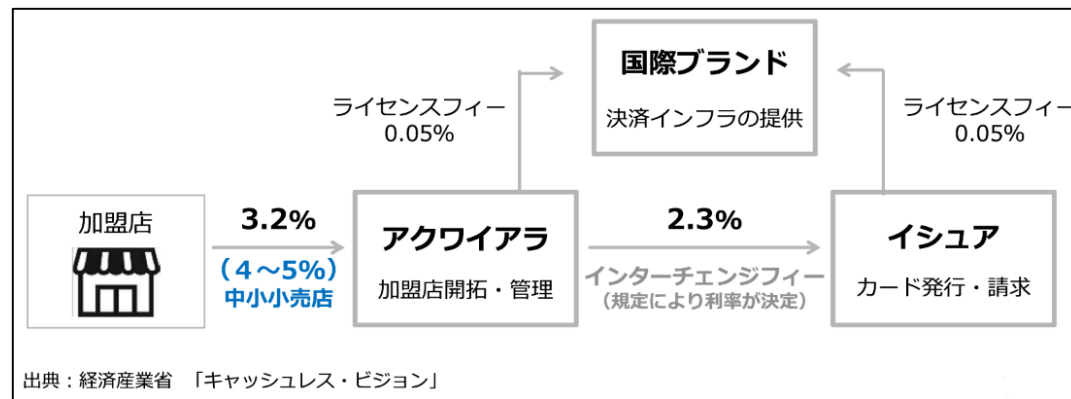


市商店街連合会「面的キャッシュレス・インフラ構築支援事業」にかかる調査（2021年3月）

全国のキャッシュレス導入状況



経済産業省「キャッシュレス決済実態調査」（2021年3月）



既存のキャッシュレス決済の活用では、手数料低減は図れず、また地域にお金や情報は残る仕組みにならない

会津若松市のような地方都市では、なかなかキャッシュレス導入が進まない

- 課題（キャッシュレス決済が普及しない理由）
 - ✓現金化に時間を要することから、店舗のキャッシュフローが厳しい
 - ✓店舗の手数料が負担大きく収益性が上がらない
 - ✓売上に応じて手数料が吸い上げられるビジネスモデルから逃れられない

●解決の方向性

地方でも導入し維持していけるような、地方にあったデジタル化が必要

会津若松市において現在の一般的なキャッシュレスでは

決済手数料を約3%とすると

年間約 **5億円** が 年間約 **1,000万件** の
地域外に流出する データが活かされていない

会津若松市内の年間キャッシュレス額は約160億円。そのうち決済手数料が約3%とすると、約5億円が首都圏や海外に流出することになる。

また、現金や一般的なキャッシュレスは地域内や地産品の買い物を後押しする力も、地域に留める力もないため、さらに多くのお金が域外流出してしまう。

会津若松市内での1年間のキャッシュレス取引、約1,000万件のデータは、地域で活かされていない。

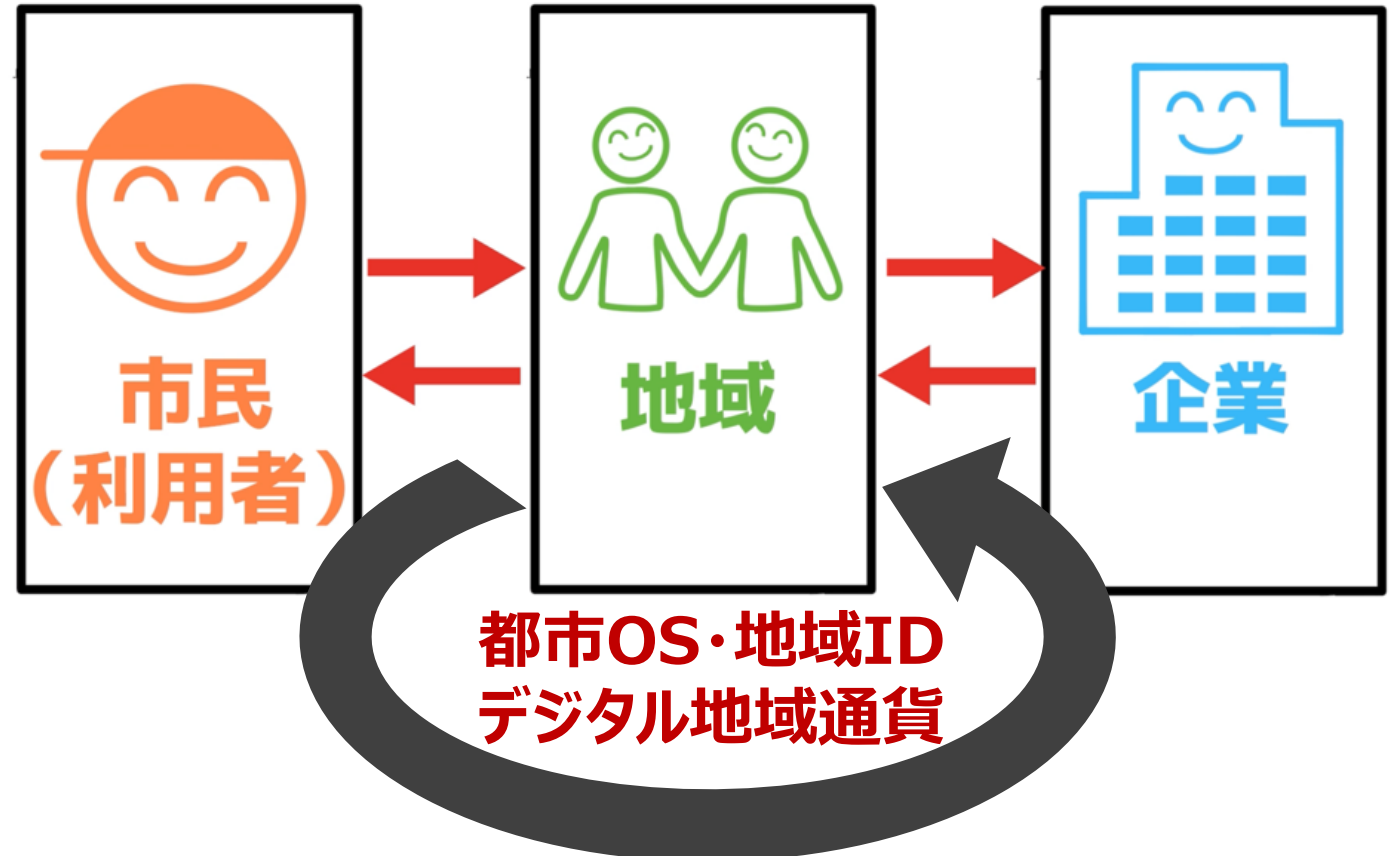
現金での支払いを含めると、その数倍もの買い物情報は活かされていない。

- スマート (smart) : 賢い、効率的な、最新の、高性能の
- シティ (city) : まち

デジタル技術を使って、地域全体を元気にする仕組み

目指す姿～**三方良し社会**

デジタル技術を活用して、地域にお金だけでなく、利用者の同意のもと、様々な情報を地域に残し、その情報で新しい仕事を生み出しながら地域を元気にしていくことを目指す。





地域通貨「会津コイン」の導入・普及により、会津地域に立地する店舗事業者の負担を軽減し、利用者にうれしく、その先に地域の活性化へつながる“三方よし”のメリットがあります。

店舗はQRシールを掲示するだけ!



店舗事業者

- ①環境利用料が固定料金のため、利用が増えるほど店舗の負担感が小さくなります。
- ②会津コインから円に必要な時に交換ことができ、仕入れや経費支払いに困りません。

利用者

- ①地域による地域住民や来訪客へのおもてなしから地域を感じる様々なうれしさを得られます。
- ②地域環境への寄付が回る等、普段のお買い物を通じて地域をより良くする取り組みに参加する事ができます。

三方よし

- ①地域の経済活性(お金を地域へ落とす、とどめる、回す)や、地域貢献施策の加速による共助社会の形成促進
- ②データを地域に蓄積し、地域や地域事業者のDXを実現

地域

令和5年度 会津若松市プレミアムポイント事業 に関するお知らせ



会津 コイン

市内の消費喚起を促し、市内事業者の皆さんを応援するため
会津コインを活用したプレミアムポイント(スマートフォンを活用し
たデジタルによるプレミアム商品券)を発行します。

プレミアムポイント事業の概要

詳細は決まり次第、お知らせいたします。

予定

発行総額

5
億円

プレミアム率

25%

10,000円で12,500円分が買える

ポイント内訳

地元専用

50%ずつ

全店共通

(6,250円ずつ)

利用期間

令和5年12月～令和6年2月末

購入申込
期間

令和5年11月上旬
※応募者多数の場合は抽選